
為替相場展望

2012年11月



調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/exchange>

目次

◆為替相場概説	p. 1
◆ドル円、ユーロ相場の回顧	p. 2
◆日米の金融政策とドル円相場	p. 3
◆E C Bの金融政策とユーロ相場	p. 4
◆為替需給からみた円相場	p. 5
◆トピックス：米大統領選挙後のドル円相場の見方	p. 6
◆ドル円、ユーロ相場の見通し	p. 8
◆内外市場データ	p. 9

調査部 マクロ経済研究センター

井上 肇 (Tel : 03-6833-0920 Mail : inoue.hajime@jri.co.jp)

◆本資料は、2012年11月5日9:00時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

為替相場概説（2012年11月）

1. ドル円、ユーロ相場の回顧

<10月のドル円相場>

中旬以降、①米国景気の回復期待、②わが国企業による海外企業買収に関する報道、③日銀の追加金融緩和観測、④わが国貿易収支の悪化、等を背景に、円安ドル高が進行し、月末にかけて一時80円台を回復。

<10月のユーロ相場>

ドラギECB総裁による国債買入の準備完了表明等を背景に、23日にかけて104円台半ばまでユーロが上昇。その後は、スペイン自治州の格下げやユーロ圏景気の悪化等を背景に、ユーロ上昇が一服し、103円台を中心に一進一退の展開。

2. 日米の金融政策とドル円相場

日米ともに金利の低下余地が乏しくなるなか、金融緩和度合いをはかる指標として中央銀行の総資産規模に注目する向きは多いものの、総資産規模よりも日米金利差がドル円相場と強い相関を維持してきた印象。金利差の観点から先行きを展望すれば、持続的な円安進行は期待薄である一方、一時的な円高進行も正当化されず。FRBが12月FOMCで追加金融緩和に踏み切るとの観測が高まっているものの、米金利の低下余地が乏しくなるなか、円高進行余地は限られる公算。なお、足許のドル円相場は金利差の観点からは正当化されうる水準。

3. ECBの金融政策とユーロ相場

独米金利差や周辺国債利回りの対独スプレッドからみれば、ユーロの一段の上昇余地は限られる公算。一方、ECBや欧州各国による危機対策進展により、ユーロ崩壊など金融市場に深刻な混乱が生じ、それに伴い大幅なユーロ安が進行するリスクは後退したとはいえ、①債務問題再燃リスク、②ユーロ圏景気の悪化持続、③ECBへの追加金融緩和期待、等を勘案すれば、今後もユーロ安に振れるリスクが残存。

4. 為替需給からみた円相場

円を取り巻く為替需給環境をみれば、わが国貿易収支の悪化や対外直接投資の増加などは、一時的な円高進行を正当化せず。一方で、過

去の円安局面で円安ドライバーとなってきた対外証券投資や円キャリートレードは盛り上がりを欠いた状態が持続しており、本格的な円安進行も期待薄。

5. トピックス：米大統領選挙後のドル円相場の見方

プラザ合意以降の米大統領選挙前後のドル円相場の経験則として、①選挙翌年は円安ドル高が進行する傾向、②選挙年は為替変動率が小さくなる一方、選挙翌年は変動率が大きくなる傾向。もっとも、これまでドル円相場に大きな影響を及ぼしてきた米国景気・金融政策の動向に加え、米国景気の失速リスクとなっている「財政の崖」回避に向けた米国政治動向等を含めて判断する必要。

「財政の崖」の影響については、「財政の崖」回避が期待される2013年春ごろまでは、不透明感により米金利の上昇余地は限られ、ドル円相場は上値の重い展開が続く見込み。一方で、春以降は、不透明感が払拭されるのに伴い、手控えられていた投資等が集中して出てくることが予想され、米国景気の回復期待が強まる公算。これが米金利の押し上げ要因となり、ドル円相場は小幅ながら円安ドル高方向に水準を切り上げる可能性。

6. ドル円、ユーロ相場の見通し

<ドル円相場の見通し>

政府・日銀の円高回避に向けた強い姿勢や為替需給面での円高圧力減退等により、一時的な円高進行のリスクは後退。もっとも、米国の財政政策を巡る不透明感の残存や金融緩和長期化観測により、本格的な円安ドル高進行にはなお時間がかかる見込み。

<ユーロ相場の見通し>

ECBや欧州各国による危機対応策により、金融市場に深刻な混乱が生じ、それに伴い大幅なユーロ安が進行するリスクは遠退いたものの、①債務問題再燃リスク、②ユーロ圏の景気悪化持続、③ECBへの追加金融緩和期待、等から、ユーロ下振れリスクは残る見込み。

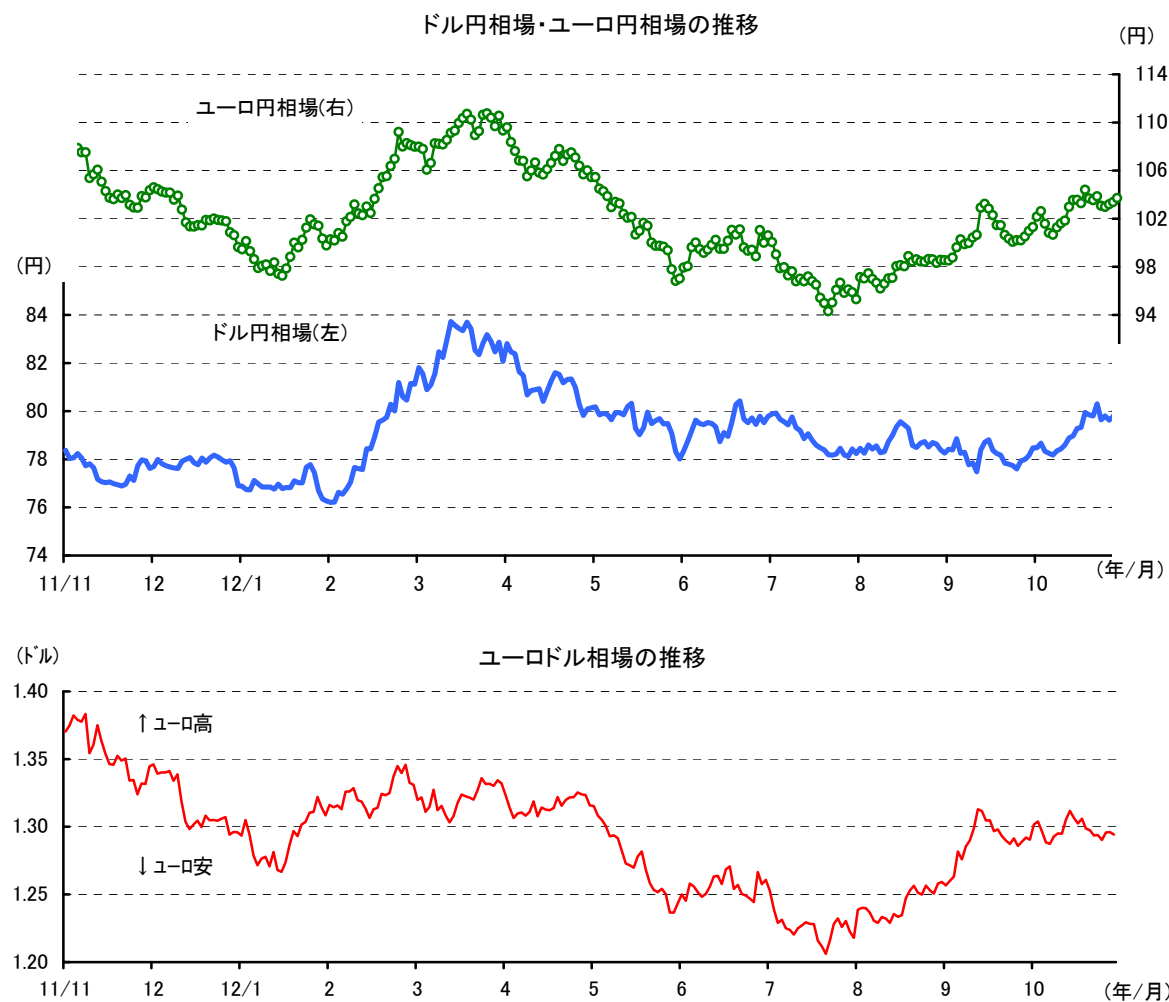
米景気回復期待や日銀の緩和観測等を背景に円安に振れるも、80円台では上値の重い展開。債務問題への過度な警戒感が薄らぐなか、ユーロは堅調に推移。

<10月のドル円相場>

月初、米ISM景況感指数や雇用関連指標等の改善を受け、米国景気に対する悲観的な見方が後退するなか、5日にかけて78円台後半までドル高が進行。その後、スペイン国債の格下げ等を受けてリスク回避の動きが強まり、11日に一時78円を割り込んだものの、①良好な小売、住宅関連指標を受けた米国景気回復期待の強まり、②わが国企業による大型の海外企業買収報道を受けた円売り観測、③日銀の追加金融緩和観測の強まり、④過去最大となる年度上半期のわが国貿易赤字、等の円安ドル高材料が相次ぐなか、26日には80円台を回復。もともと、日銀の金融緩和期待等を背景にした円売りが一服するなか、月末にかけては79円台を中心に一進一退の展開。

<10月のユーロ相場>

4日にドラギECB総裁が南欧諸国の国債買入を「必要な条件が整い次第、実行に移す用意がある」と発言したこと等を受け、5日に102円台後半までユーロ高が進行。その後、米S&Pがスペイン国債を格下げしたこと等を受けて、11日に一時100円割れ寸前までユーロが反落したものの、①IMFのラガルド専務理事がユーロ圏の重債務国に財政赤字削減の時間的猶予を与えるべきとの見解を表明したこと、②米ムーディーズによるスペイン国債の格付け据え置き、③日銀の追加金融緩和観測の強まり、等を背景に、23日にかけて104円台半ばまで円安ユーロ高が進行。その後は、米ムーディーズによるスペイン自治州の格下げやユーロ圏景気の悪化等を背景に、ユーロ上昇が一服し、月末にかけて103円台を中心に一進一退の展開。



(資料)Bloomberg L.P.

日米の金利がともに低位安定が見込まれるなか、持続的な円安進行は期待薄。一方で、一方的な円高進行も正当化されず。

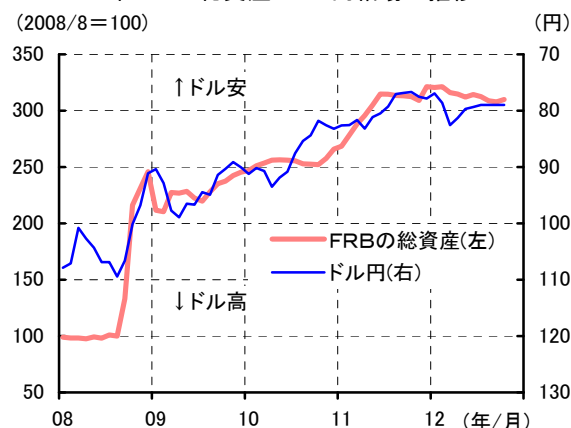
米F R Bは、10月23～24日のF O M Cで金融政策を据え置き。今回の決定は市場の予想通りであったことから、ドル円相場もほぼ無反応で通過。一方、日銀は、10月30日の金融政策決定会合で、資産買入等基金を11兆円増額すること等を決定。10月中旬以降、日銀の追加緩和を織り込む形で80円台まで円安が進行していたことから、決定後は円安が一段。

日米ともに量的緩和を実施するなか、一部には日銀の総資産の拡大ペースが米F R Bに比べて見劣りすることが円高を是正できない要因という見方も。実際、日米ともに金利の低下余地が乏しくなるなか、緩和度合いをはかる指標として中央銀行の総資産規模に注目する向きは多いものの、ドル円と総資産規模の間に明確な関係はみられず。F R Bの総資産が拡大する局面には円高ドル安が進む傾向がある一方、日銀が総資産規模を拡大させても円安は進まず、逆に円高になると日銀が量的緩和拡大を余儀なくされる傾向。むしろ、総資産規模よりも日米金利差がドル円相場と強い相関を維持してきた印象。

金利差の観点から先行きを展望すれば、日米の金利がともに低位安定が見込まれるなか、持続的な円安進行は期待薄である一方、一方的な円高進行も正当化されず。米F R Bが年末にツイスト・オペが終了することを見据え、次回12月11～12日のF O M Cで追加金融緩和に踏み切るとの観測が高まっているものの、米金利の低下余地が乏しくなるなか、円高進行余地は限られる公算。

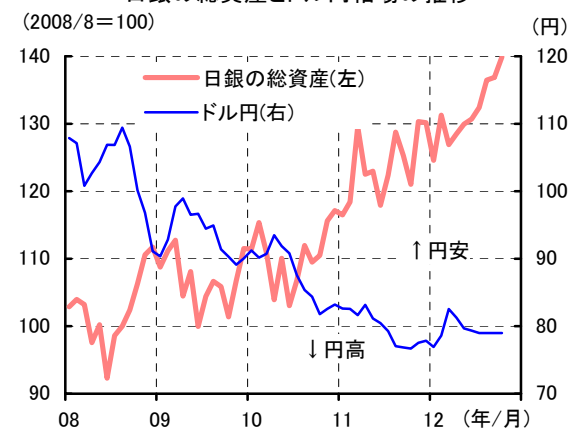
ちなみに、米日2年債利回り格差をもとに試算すると、足許の日米金利差(10月末時点: 0.18%程度)に見合うドル円相場の水準は、79.9円±3.0円程度(2標準偏差の範囲)となっており、足許のドル円相場は金利差の観点からは正当化されうる水準。

米FRBの総資産とドル円相場の推移



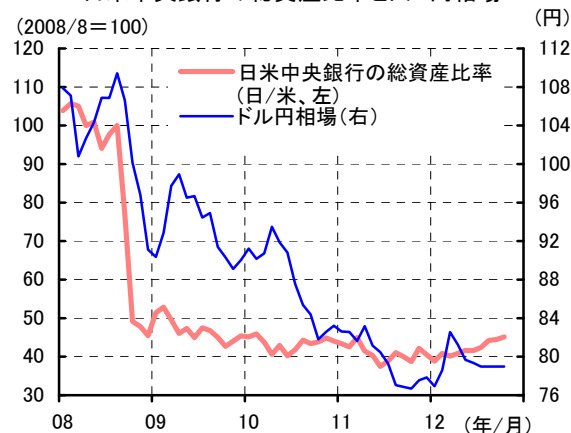
(資料)米FRB

日銀の総資産とドル円相場の推移



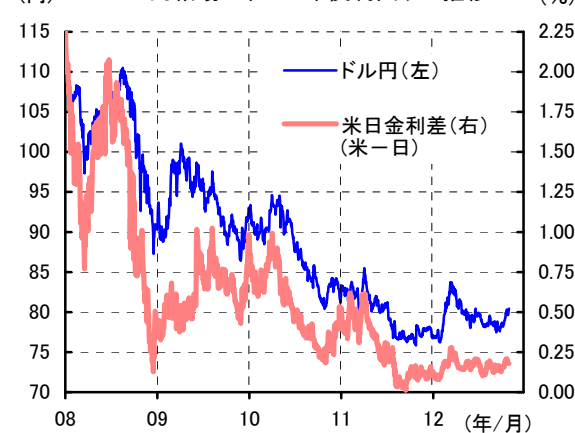
(資料)日銀

日米中央銀行の総資産比率とドル円相場



(資料)日銀、米FRB

ドル円相場と米日2年債利回りの推移



(資料)Bloomberg L.P.

ECBや欧州各国による危機対策が進展するなか、大幅なユーロ安が進行するリスクは後退。もっとも、今後もユーロ安に振れるリスクは残存。

7月末にドラギ総裁がユーロ防衛を表明して以降、9月にECBが無制限の国債買入策(OMT)を発表したほか、10月8日にはESMが正式稼動するなど、ECBや欧州各国による危機対策が進展するなか、10月入り後もユーロは堅調な推移。

もっとも、ユーロ相場と相関の高い独米金利差や周辺国債の対独スプレッドからみれば、①独金利の低位安定が見込まれるなか、独米金利差の大幅拡大が見込み難いこと、②スペインなど重債務国の国債利回りの低下一服により、周辺国債利回りの対独スプレッドの縮小も一服していること、から、ユーロの一段の上昇余地は限られる公算。

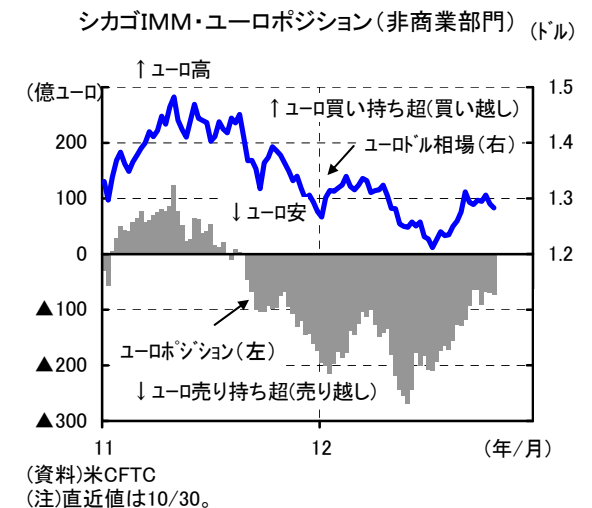
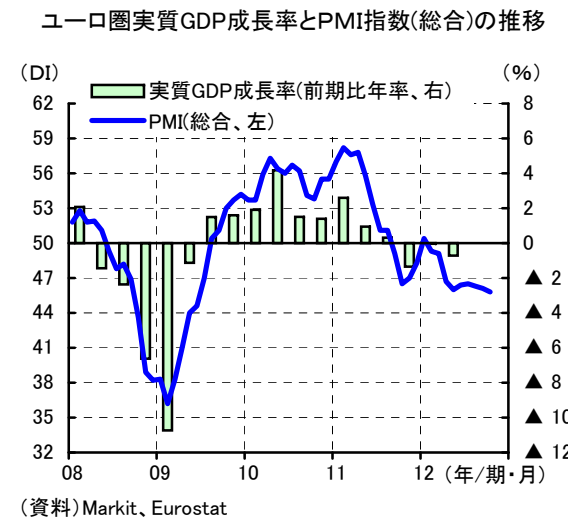
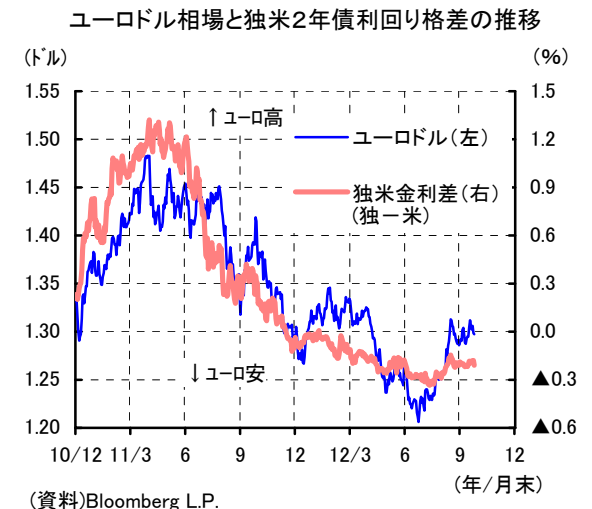
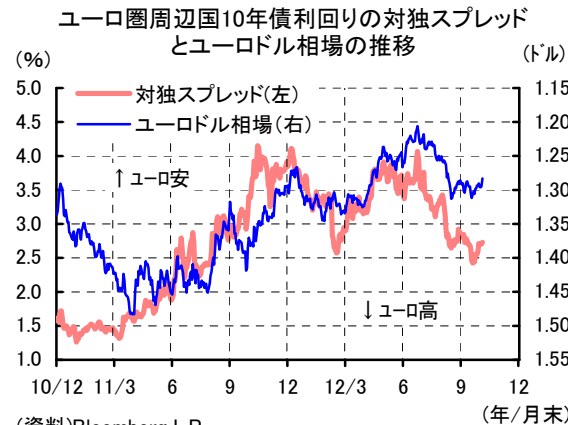
一方、ECBや欧州各国による危機対策進展により、ユーロ崩壊など金融市場に深刻な混乱が生じ、それに伴い大幅なユーロ安が進行するリスクこそ後退したとはいえ、以下の点を勘案すれば、今後もユーロ安に振れるリスクが残存。

第一は、債務問題再燃リスク。スペインの金融支援要請観測が足許のユーロ下支え要因の一つとなっているものの、ECB等による金融支援はスペインなどの当該国が財政再建を軌道に乗せるサポートとはなっても、債務問題の抜本的解決策とはならず。

第二は、緊縮財政等を背景としたユーロ圏景気の悪化持続。GDPと相関が高いPMI総合指数は、ユーロ圏景気の悪化が続いていることを示唆。

第三は、ECBへの追加金融緩和期待の残存。南欧諸国を中心に景気の悪化が見込まれる一方、緊縮財政により財政政策が封じられなか、ECBの金融緩和に期待せざるを得ない状況が続く公算大。

なお、投機筋の動向を示すIMM通貨先物取引(非商業部門)をみると、ユーロ売り持ち超が持続しており、投機筋はユーロの先行きについて慎重姿勢を崩していないことを示唆。



わが国貿易収支の悪化や対外直接投資の増加など、円を取り巻く為替需給環境の変化は一方的な円高進行を正当化せず。

10月入り後、わが国大手通信会社による大型の海外企業買収案件や、4～9月期のわが国貿易赤字が半期として過去最大となったことが発表。これらを受け、買収資金調達に伴うドル転需要や、貿易収支の悪化による円高圧力の減退が意識され、円安を促す場面も。以下では改めて円を取り巻く為替需給環境を整理。

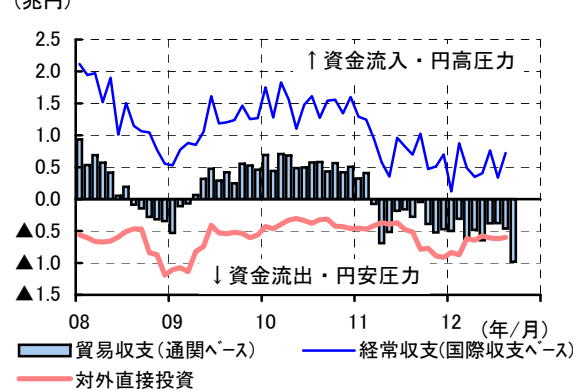
わが国の貿易収支は、9月まで赤字基調が継続。先行きも、海外経済減速による輸出低迷と、原発停止に伴う火力発電用燃料需要の増加等による輸入の高止まりにより、黒字基調復帰にはなお時間を要する見通し。所得収支黒字に支えられ、経常黒字は維持される見込みながら、貿易赤字を主因に経常黒字幅が大幅に縮小するなか、円高圧力は引き続き限定的となる公算大。

対外直接投資は引き続き高水準で推移。円高水準の長期化や海外市場の高い成長期待等から、今後もこうした構図が続く可能性。

以上を踏まえると、わが国貿易収支の悪化や対外直接投資の増加など、円を取り巻く為替需給環境の変化は一方的な円高進行を正当化せず。一方で、過去の円安局面で円安ドライバーとなってきた対外証券投資や円キャリートレードは盛り上がりを欠いた状態が持続しており、本格的な円安進行も期待薄。

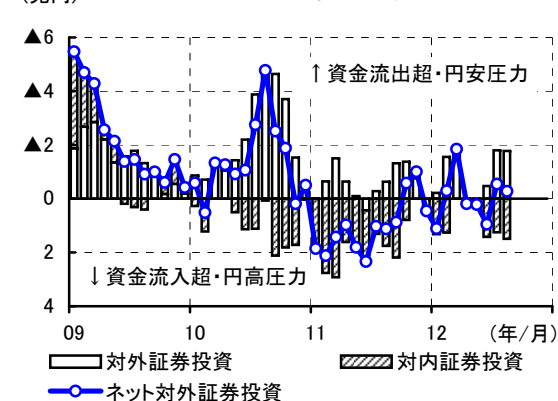
投機筋の動向を示すIMM通貨先物取引(非商業部門)みると、投機筋は足許円売り持ち超に転換。今後、投機筋が再び円買いに転じる可能性は残るものの、金利面や需給面で一時的な円高進行が正当化しにくくなるなか、昨年後半のように円買いが勢いづく可能性は小。

貿易・経常収支、対外直接投資の推移



(資料)財務省、日銀
(注)貿易収支、経常収支は季調値、対外直接投資は再投資収益を除いた原数値の6ヵ月移動平均値。

ネット対外証券投資の推移



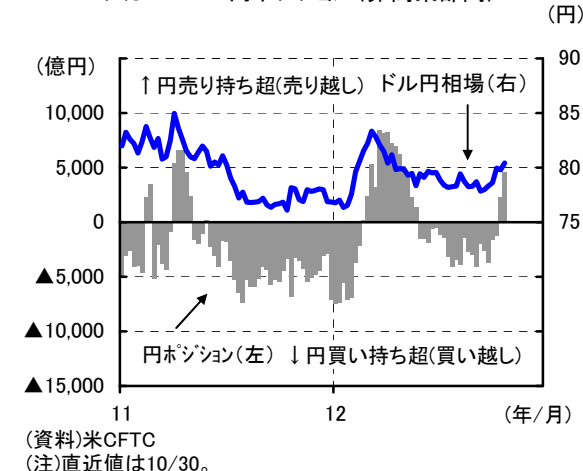
(資料)財務省、日銀
(注)いずれも3ヵ月移動平均値。ネット対外証券投資は、対外証券投資から対内証券投資を引いたものの。

円名目実効為替レートと外銀本支店勘定(資産)



(資料)日銀

シカゴIMM・円ポジション(非商業部門)



(資料)米CFTC
(注)直近値は10/30。

米大統領選挙翌年のドル円相場には、円安ドル高傾向、変動率上昇という経験則。もっとも、政治・経済・金融政策動向を含めて判断する必要。

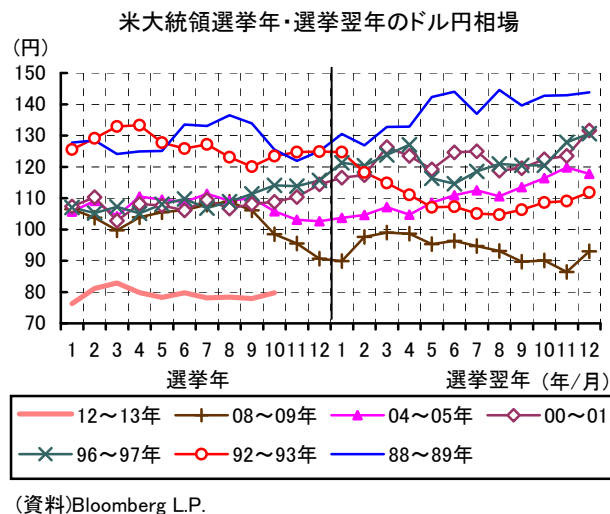
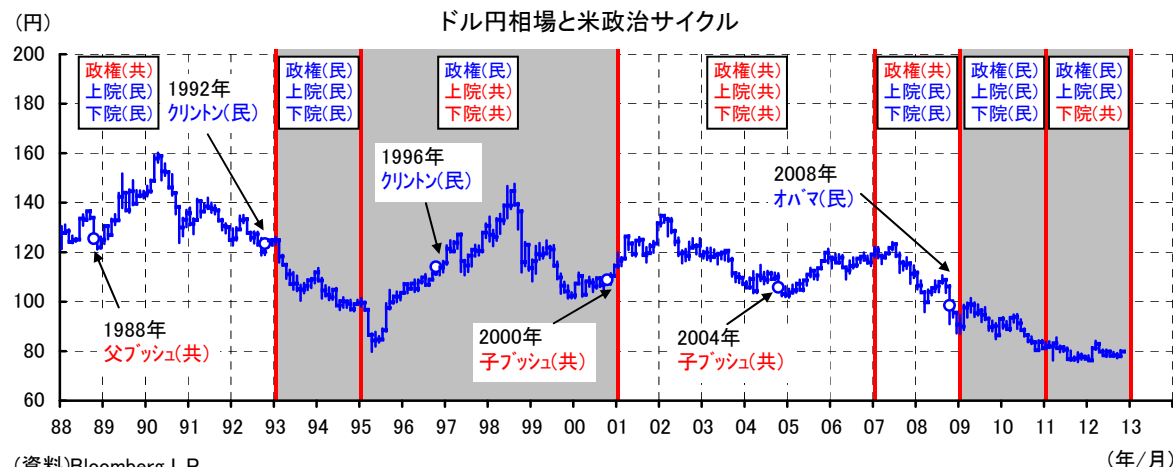
プラザ合意(1985年)以降の米大統領選挙前後のドル円相場の動向についてみると、大統領選挙年とその翌年のドル円相場には、いくつかの経験則。

第一に、選挙翌年は円安ドル高が進行する傾向。クリントン政権第一期開始年(93年)とリーマンショック直後のオバマ政権第一期開始年(09年)を除くすべての時期で成立。この背景の一つには、大統領選挙前には政策面での停滞感が強まりやすいものの、選挙後は新政権による経済政策への期待が高まりやすいことが指摘可能。

第二に、選挙年はドル円相場の変動率が小さくなる一方、選挙翌年は変動率が大きくなる傾向。リーマンショック直後のオバマ政権の第一期開始年(09年)を除くすべての時期で成立。この背景の一つには、選挙年には選挙結果を見極めたいという思惑が強まりやすいのに対し、選挙翌年は新政権の政策の方向性が明確になり、ポジションを傾けやすいということが指摘可能。

大統領選で共和党候補が勝つと円安ドル高に、民主党候補が勝つと円高ドル安に振れる傾向があると指摘されることが多いものの、米大統領の所属政党の違いによる明確な傾向は認められず。なお、民主党大統領のもとでの円高ドル安は議会も民主党が主導権をとっていた場合に限定。

もっとも、来年もこれまでの経験則が当てはまるという保証はなく、これまでドル円相場に大きな影響を及ぼしてきた米国景気・金融政策の動向に加え、米国景気の失速リスクとなっている「財政の崖」回避に向けた米国政治動向等を含めて判断する必要。



米大統領選挙年・選挙翌年の円安・円高傾向、変動率

	政権 (大統領)	円安・円高傾向		変動率(%)	
		選挙年	選挙翌年	選挙年	選挙翌年
88→89年	共→共	円安	円安	11.97	20.68
92→93年	共→民	円高	円高	12.93	22.87
96→97年	民→民	円安	円安	12.08	17.29
00→01年	民→共	円高	円高	12.62	15.09
04→05年	共→共	円高	円安	12.03	17.67
08→09年	共→民	円高	円安	25.00	17.84
12→13年	民→?	円安	-	10.20	-

(資料)Bloomberg L.P.
(注)円安・円高傾向は、前年末から当該年末までの変化率で判定。変動率は年間変動幅を高値、安値の平均で除して算出。ただし、2012年は10月31日時点。

ドル円相場は、「財政の崖」回避が期待される2013年春頃までは上値の重い展開が続いた後、小幅ながら円安ドル高方向に水準を切り上げる可能性。

11月6日の米大統領・議会選挙では、大統領の所属政党、上院の多数派政党、下院の多数派政党のいずれかに「ねじれ」が生じるとの見方が優勢。

こうしたなか、米国経済には、年末年始に大規模な減税失効と強制的な歳出削減が始まる「財政の崖」(以下、「崖」)が接近。米議会予算局(CBO)は、「崖」が最も深いケースとなった場合、①2013年度の財政赤字は前年度比で4,870億ドル(名目GDP比3%強)削減、②2013年の実質GDP成長率は前年比▲0.3%へ失速(影響が最大となる2013年第1四半期は前期比年率▲3.9%)、③2013年第4四半期の失業率は9.1%に上昇、と試算。

民主・共和両党ともに一定の減税延長・強制歳出削減の停止の必要性では一致しているものの、その内容では主張が異なっており、「ねじれ」がある状況では交渉・合意に時間を要することが濃厚。

「崖」が最終的に回避されるとしても、不透明感が長く続くこと自体が米国景気の下振れさせるリスク。実際、不透明感が企業マインドを悪化させ、設備投資等を先送りさせている兆候も。

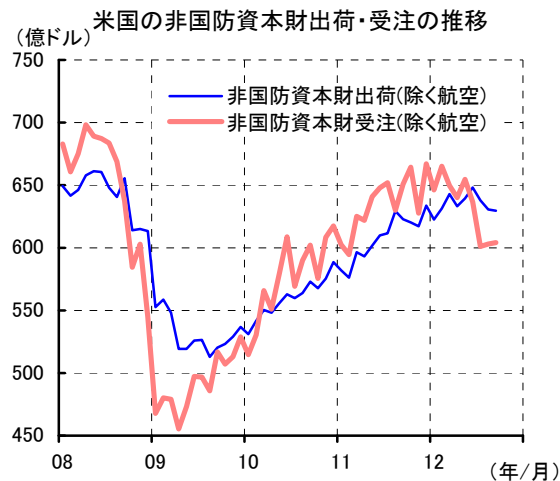
「崖」の回避策は、時限的な延長により、来年の新政権と議会に持ち越される公算が大きいものの、不透明感が長く続くこと自体が米国景気を下振れさせるリスクを伴うことから、来春ごろまでには両党が歩み寄る形で、回避策が合意されると期待。

以上を踏まえると、来春ごろまでは、不透明感により米金利の上昇余地は限られ、ドル円相場は上値の重い展開が続く見込み。一方で、来春以降は、不透明感が払拭されるに伴い、手控えられていた投資等が集中して出てくることが予想され、米国景気の回復期待が強まる公算。これが米金利の押し上げ要因となり、ドル円相場は小幅ながら円安ドル高方向に水準を切り上げる可能性。

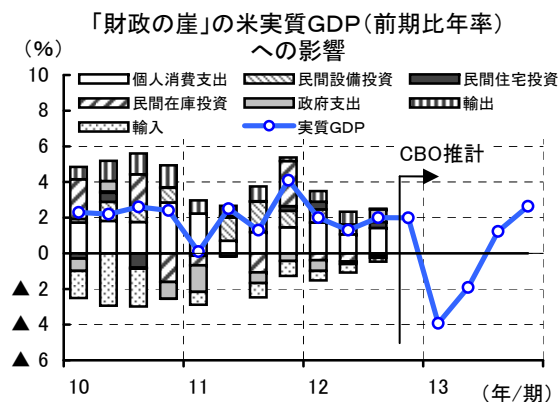
「財政の崖」による2013年度の財政赤字削減予想額
(2012年度からの変化額)

項目	金額 (億ドル)
歳入関連	3,930
ブッシュ減税等の失効	2,250
給与税減税の失効	850
投資減税、他の負担軽減措置の失効	650
医療保険改革による増税	180
歳出関連	980
財政管理法による歳出一律削減	540
緊急失業保険給付の延長措置失効	340
メディケア診療報酬削減凍結措置解除	100
合計	4,870

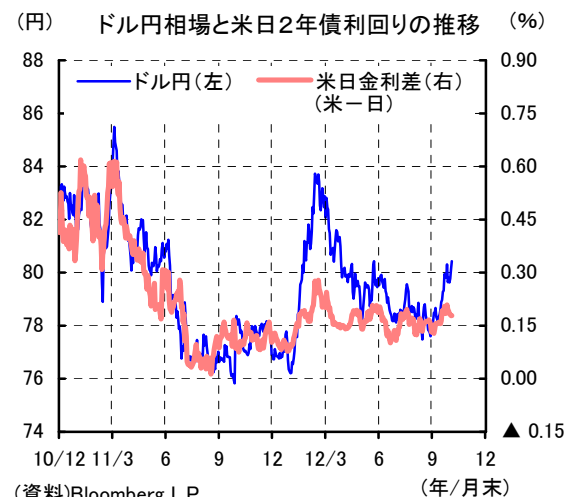
(資料)米CBO(2012年8月資料)をもとに日本総研作成
(注)歳入と歳出の差は、フィードバック効果などを含む。



(資料)米商務省



(資料)米商務省、CBO
(注)2012年7～9月期までは実績。10～12月期以降はCBOのベースラインシナリオ(現行法が変更されず、緊縮財政が発動されるシナリオ)。



(資料)Bloomberg L.P.

ドル円：一方的な円高進行リスクは後退も、本格的な円安進行にはなお時間。 ユーロ：大幅なユーロ安進行リスクは後退も、リスクはユーロ安方向。

＜ドル円相場の見通し＞

米F R Bによる追加金融緩和観測がくすぶっているほか、「財政の崖」と呼ばれる米国の財政政策を巡る不透明感が払拭されないなか、円高ドル安圧力が残存。もっとも、①住宅市場の持ち直し等に伴う米国経済に対する悲観的な見方の後退、②わが国貿易収支の悪化や対外直接投資の増加など、為替需給面での円高圧力減退、③わが国通貨当局の円高回避に向けた強い姿勢、等により、一方的に円高ドル安が進行するリスクは後退しており、78～80円台を中心とした円高値圏での推移が続く見通し。

2013年春以降、「財政の崖」を巡る不透明感が後退し、米国景気の回復期待が高まってくれば、小幅ながら円安ドル高方向に水準を切り上げる可能性。もっとも、米F R Bが雇用情勢に大幅な改善がみられるまで積極的な金融緩和を継続する意向を示していること等を踏まえれば、本格的な円安ドル高進行にはなお時間がかかる見通し。

＜ユーロ相場の見通し＞

E C Bや欧州各国による危機対応策により、ユーロ崩壊など金融市場に深刻な混乱が生じ、それに伴い大幅なユーロ安が進行するリスクは後退。もっとも、①欧州債務問題の再燃リスクが残っていること、②緊縮財政等を背景にユーロ圏景気の悪化が続くと予想されること、③財政政策が封じられるなか、E C Bへの追加金融緩和期待が高まりやすいこと、等から、ユーロが下振れしやすい状況が続く見通し。

ユーロの本格的な反転上昇には、欧州各国が財政再建、財政統合、安全網の拡充等に向けて前進していくと同時に、南欧諸国の景気悪化に歯止めがかかる必要。

ドル円相場見通し

(円)

	2012年		2013年		
	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9
期中平均	78.6	79	79	80	81
(高値)	80.1	83	83	84	85
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	77.1	76	76	77	78

予測

ユーロ円相場見通し

(円)

	2012年		2013年		
	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9
期中平均	98.4	102	100	100	101
(高値)	103.9	106	104	104	105
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	94.1	96	94	94	95

予測

ユーロドル相場見通し

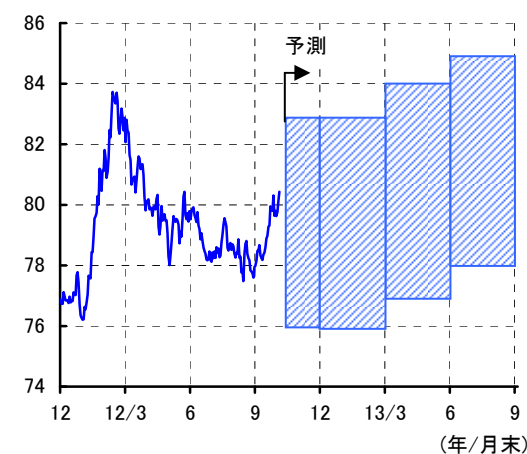
(ドル)

期中平均	1.25	1.29	1.27	1.26	1.25
(高値)	1.32	1.33	1.31	1.30	1.29
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	1.20	1.23	1.21	1.20	1.19

予測

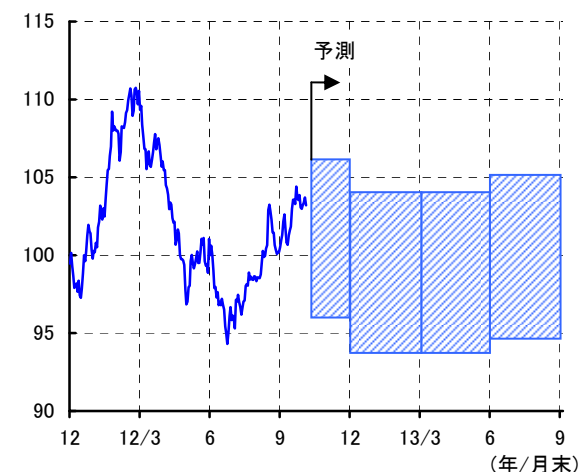
ドル円相場見通し

(円)



ユーロ円相場見通し

(円)



内外市場データ（月中平均）

	為替相場			国内市場				米国市場					欧州市場					商品市況	
	¥/\$ (NY終値)	¥/€ (NY終値)	\$/€ (NY終値)	無担0/N (%)	TIBOR 3ヵ月 (%)	国債 10年物 (%)	日経平均 株価 (円)	FF 0/N (%)	LIBOR 3ヵ月 (%)	国債 10年物 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	S&P500	EONIA (%)	EURIBOR 3ヵ月 (%)	独国債 10年物 (%)	英国債 10年物 (%)	ユーロ・ スワップ50	WTI 原油先物 (\$/B)	COMEX 金先物 (\$/TO)
09/1	90.36	120.10	1.3288	0.1202	0.73	1.25	8331.49	0.15	1.21	2.46	8396.20	865.58	1.81	2.46	3.09	3.36	2340.04	86.69	862.68
09/2	92.85	118.87	1.2805	0.1108	0.71	1.29	7694.78	0.22	1.24	2.85	7690.50	805.23	1.26	1.94	3.16	3.60	2159.84	90.79	941.80
09/3	97.74	127.76	1.3074	0.1000	0.68	1.30	7764.58	0.18	1.27	2.80	7235.47	757.13	1.06	1.64	3.06	3.20	1993.93	97.69	926.85
09/4	98.93	130.65	1.3207	0.1037	0.62	1.44	8767.96	0.15	1.11	2.90	7992.12	848.15	0.84	1.42	3.19	3.36	2257.10	101.65	890.82
09/5	96.51	131.91	1.3672	0.1021	0.58	1.44	9304.43	0.18	0.82	3.30	8398.37	902.41	0.78	1.28	3.42	3.63	2426.68	121.18	930.38
09/6	96.67	135.47	1.4014	0.1040	0.56	1.47	9810.31	0.21	0.62	3.70	8593.00	926.12	0.70	1.23	3.55	3.82	2449.02	131.89	945.56
09/7	94.45	133.05	1.4086	0.1016	0.56	1.34	9691.12	0.16	0.52	3.53	8679.75	935.82	0.36	0.98	3.36	3.81	2462.09	131.43	935.05
09/8	94.92	135.40	1.4266	0.1057	0.55	1.37	10430.35	0.16	0.42	3.57	9375.06	1009.72	0.35	0.86	3.33	3.69	2702.65	115.09	949.73
09/9	91.39	133.10	1.4564	0.1025	0.53	1.31	10302.87	0.15	0.30	3.39	9634.97	1044.55	0.36	0.77	3.29	3.66	2827.93	106.39	997.95
09/10	90.31	133.83	1.4818	0.1061	0.53	1.33	10066.24	0.12	0.28	3.36	9857.34	1067.66	0.36	0.74	3.23	3.54	2865.49	88.57	1045.02
09/11	89.11	133.01	1.4928	0.1053	0.52	1.35	9640.99	0.12	0.27	3.38	10227.55	1088.07	0.36	0.72	3.28	3.71	2843.77	82.35	1131.67
09/12	90.05	131.15	1.4568	0.1011	0.47	1.26	10169.01	0.12	0.25	3.59	10433.44	1110.38	0.36	0.71	3.23	3.84	2907.65	70.68	1126.72
10/1	91.22	130.20	1.4272	0.0964	0.45	1.33	10661.62	0.11	0.25	3.71	10471.24	1123.58	0.34	0.68	3.29	3.97	2922.72	68.88	1117.09
10/2	90.16	123.35	1.3682	0.1007	0.44	1.33	10175.13	0.13	0.25	3.68	10214.51	1089.16	0.34	0.66	3.19	4.02	2727.48	65.48	1097.81
10/3	90.72	123.12	1.3574	0.0973	0.44	1.34	10671.49	0.16	0.27	3.72	10677.52	1152.05	0.35	0.65	3.13	4.02	2890.47	67.53	1114.57
10/4	93.49	125.54	1.3428	0.0929	0.41	1.35	11139.77	0.20	0.31	3.82	11052.15	1197.32	0.35	0.65	3.09	3.99	2937.30	71.24	1149.50
10/5	91.88	115.21	1.2535	0.0908	0.39	1.27	10103.98	0.20	0.46	3.40	10500.19	1125.06	0.34	0.69	2.80	3.72	2642.13	73.51	1206.58
10/6	90.81	110.89	1.2212	0.0948	0.39	1.20	9786.05	0.18	0.54	3.19	10159.27	1083.36	0.35	0.73	2.63	3.49	2641.66	81.58	1233.98
10/7	87.56	112.09	1.2803	0.0944	0.37	1.10	9456.84	0.18	0.51	2.98	10222.24	1079.80	0.48	0.85	2.65	3.38	2669.50	78.89	1192.99
10/8	85.37	110.12	1.2898	0.0950	0.37	0.98	9268.23	0.19	0.36	2.68	10350.40	1087.28	0.43	0.90	2.37	3.07	2712.23	83.00	1217.90
10/9	84.38	110.47	1.3093	0.0912	0.36	1.06	9346.72	0.19	0.29	2.64	10598.07	1122.08	0.45	0.88	2.34	3.02	2766.09	79.26	1272.30
10/10	81.80	113.69	1.3900	0.0909	0.34	0.89	9455.09	0.19	0.29	2.51	11044.49	1171.58	0.70	1.00	2.37	2.96	2817.71	84.88	1344.78
10/11	82.58	112.61	1.3641	0.0906	0.34	1.05	9797.18	0.19	0.29	2.74	11198.31	1198.89	0.59	1.04	2.56	3.20	2809.64	88.66	1371.80
10/12	83.22	110.06	1.3227	0.0869	0.34	1.19	10254.46	0.18	0.30	3.28	11465.26	1241.53	0.50	1.02	2.96	3.50	2825.58	87.42	1392.60
11/1	82.62	110.49	1.3374	0.0848	0.34	1.21	10449.53	0.17	0.30	3.36	11802.37	1282.62	0.66	1.02	3.05	3.60	2900.69	88.07	1361.02
11/2	82.57	112.80	1.3662	0.0934	0.34	1.28	10622.27	0.16	0.31	3.56	12190.00	1321.12	0.71	1.09	3.23	3.77	3015.73	84.42	1375.12
11/3	81.64	114.45	1.4019	0.0846	0.34	1.25	9852.45	0.14	0.31	3.40	12081.48	1304.49	0.66	1.18	3.25	3.60	2890.36	86.03	1422.91
11/4	83.17	120.35	1.4473	0.0623	0.33	1.27	9644.62	0.10	0.28	3.43	12434.88	1331.51	0.97	1.32	3.35	3.63	2947.16	91.70	1485.41
11/5	81.15	116.24	1.4326	0.0693	0.33	1.14	9650.78	0.09	0.26	3.15	12579.99	1338.31	1.03	1.43	3.11	3.36	2885.77	85.73	1512.55
11/6	80.47	115.89	1.4401	0.0685	0.33	1.13	9541.53	0.09	0.25	2.99	12097.31	1287.29	1.12	1.49	2.97	3.25	2766.61	84.50	1528.62
11/7	79.27	113.30	1.4293	0.0731	0.33	1.11	9996.68	0.07	0.25	2.98	12512.33	1325.18	1.01	1.60	2.79	3.13	2743.46	82.96	1574.62
11/8	77.05	110.46	1.4339	0.0806	0.33	1.02	9072.94	0.10	0.29	2.29	11326.62	1185.31	0.91	1.55	2.25	2.55	2297.21	84.67	1763.99
11/9	76.86	105.70	1.3752	0.0801	0.33	1.00	8695.42	0.08	0.35	1.96	11175.45	1173.88	1.01	1.54	1.87	2.41	2124.31	85.55	1771.92
11/10	76.68	105.26	1.3728	0.0814	0.33	1.01	8733.56	0.07	0.41	2.13	11515.93	1207.22	0.96	1.58	2.04	2.50	2312.30	88.24	1671.25
11/11	77.54	105.09	1.3554	0.0768	0.33	0.99	8506.11	0.08	0.48	2.00	11804.33	1226.41	0.79	1.49	1.95	2.24	2239.58	88.87	1739.43
11/12	77.84	102.35	1.3149	0.0778	0.33	1.00	8505.99	0.07	0.56	1.97	12075.68	1243.32	0.63	1.43	1.99	2.11	2283.30	90.90	1638.58
12/1	76.93	99.33	1.2912	0.0805	0.33	0.97	8616.71	0.08	0.57	1.93	12550.89	1300.58	0.38	1.22	1.86	2.04	2382.07	95.40	1657.22
12/2	78.60	104.06	1.3237	0.0849	0.33	0.96	9242.33	0.10	0.50	1.96	12889.05	1352.49	0.37	1.05	1.90	2.13	2508.24	99.67	1741.61
12/3	82.55	109.07	1.3214	0.0840	0.33	1.00	9962.35	0.13	0.47	2.16	13079.47	1389.24	0.36	0.86	1.88	2.25	2532.18	102.74	1676.67
12/4	81.27	106.99	1.3164	0.0745	0.33	0.95	9627.42	0.14	0.47	2.03	13030.75	1386.43	0.35	0.74	1.73	2.12	2340.78	108.07	1649.74
12/5	79.68	101.90	1.2788	0.0836	0.33	0.85	8842.54	0.16	0.47	1.78	12721.08	1341.27	0.34	0.69	1.46	1.87	2198.50	101.52	1587.68
12/6	79.35	99.57	1.2548	0.0764	0.33	0.84	8638.08	0.16	0.47	1.61	12544.90	1323.48	0.33	0.66	1.43	1.67	2152.74	100.51	1600.53
12/7	78.98	97.09	1.2293	0.0836	0.33	0.77	8760.68	0.16	0.45	1.50	12814.10	1359.78	0.18	0.50	1.31	1.55	2258.36	102.66	1593.68
12/8	78.68	97.59	1.2404	0.0863	0.33	0.80	8949.88	0.13	0.43	1.67	13134.90	1403.44	0.11	0.33	1.42	1.57	2424.50	91.45	1630.27
12/9	78.16	100.62	1.2874	0.0848	0.33	0.80	8948.59	0.14	0.39	1.70	13418.50	1443.42	0.10	0.25	1.55	1.77	2530.69	88.70	1745.83
12/10	79.01	102.47	1.2970	0.0849	0.33	0.77	8827.39	0.16	0.33	1.72	13380.65	1437.82	0.09	0.21	1.52	1.80	2503.47	87.67	1744.43